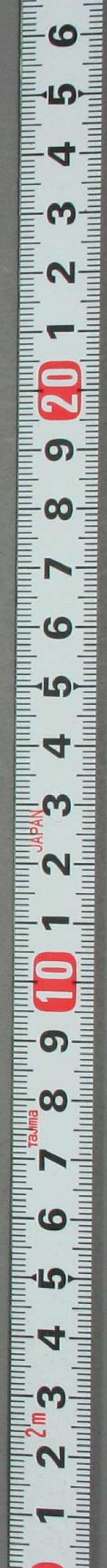




塚原山詩歌連俳千人一首

4427
^1



4427

伊賀自^ラ武名、松尾甚七郎后忠左門^一改藤堂家ニ任テ社年^ノ時官^ヲ
諱^シ洛^ニ上^リ季吟叟ニ遊學スレ^テ七年ニシテ退^キ寛文^ノ余^ニ江戸礪川^ノ
永道修成^ニ又功^ヲ積^テ去^レ俳諧^ヲ業^トス雜藝^レテ名^ヲ風羅坊^ト云^フ后^ニ
批^青上^草少^派川^ニ庵^ヲ結^ト庭^ニ芭蕉^ヲ植^テ樂^是ヨリ^此久^ク奉^テ
芭蕉庵^ト稱^ス因^テ自^ミ芭蕉堂^稱青^ト号^ス年^三十七

花本大明神

古池也

性^ハひまむ

水^ノ名



諸國^ニ遊歷^シテ俳風^ヲ弘^ム万人^ノ悉^ク帰^ス此^翁俳諧^正風^跡
中興^ノ開祖^{ナリ}終^ニ翁^雅波津^ニ遇^レ病^ニ伏^レ七日^ニシテ卒^ス年^五十二
江州^義仲^寺ニ葬^ル夫^{ヨリ}星霜^ヲ遠^キ子^天保^十四^癸卯^ノ秋^ニ
二條^殿下^{ヨリ}御贈^官アリ終^ル所^ハ神^花本^大明^神ト号^シ奉^ル

昭和十一年
三月三日
購求

長髪をひく

橘紙

むた麻衣

葵葉堂

月又うね

僊娥君

年の瀬に

女郎女男波や

人の市

蓬窓

憐風君

鹿聲驚夢

麻のよ方衣衣と袴、きほむむ杜玉夜の

女も髪も羞のうらよてそるん先

則瓊君

右秋丹の向ら舞衣氷とるくみりまこと
あつた波もたつて 昔阿れあやあ水も
神儒仏に神先り雲のくくくまきまを
り雲曲にた少女志のあまきまを大傳乃み
崇樂みみかをくらまきくくあまをた再は入る
あつた秋れ子人一首に報果た
又十人代をさきさきさきさきさきさき
後守に神系に納免あまの三三三山に雲
乃葉のさきさきさきさきさきさきさき
まては子さきさきさきさきさきさきさき

非のちり成はるはちりしれをさるるに
 月舟のうらうらとぬをのさる人あらふき
 續きのるくそれくあのを平橋子連りて
 神いさえのるこそいふそを伝へてれ成
 日友とちありてさるのうらふく願望成
 述よとちあふまのせむのまに堀原山
 尚款連能ふ人一事と教へて橋本小形む
 時ふ弘化四れとて丁未乃をさるるを
 名聞の玉人希望奪れあて一固磨
 自らあるはとあといふ

大園教英曩出
 日二丈撮氏辰己
 亮平常應也元
 龜避乱有故為修
 驗也九世于今不墜
 家声則号日新生

酔題

佳氣紅塵起坐邊青郊霞色鬱
 綿聯誰知林屋景難盡黃鳥飛
 末謀佐妍 大園教英曩出



常州霞ヶ浦五町
 田八人年甫三十六
 世々医家ニラ姓ハ
 大輪名ハ順字宗
 貞配削ノ暇詩文
 フ樂ニ業名万里
 ニヒック

我打の火
 火の打の我
 火の打の我
 火の打の我

山 吼雲
 脚吹煙起
 岑頭黑白
 横空裁五色
 泛水作龍鱗
 夏日消炎熱
 秋宵涼氣連
 一時風吼去
 奔走任彼頻

坤齋宗貞



人所乃ノ事

穴住居

之根云

乃士の

あうり

神ハセ

槍討園秀明



此側の判者よ
 一八重通門達
 親掾の二号り
 天保十亥年迄
 京都に住師槍
 園梅明の執夏
 当時下総
 埴生郡成田住
 通称三池半
 兵工康吉年
 卅三十一

意門梅明の
 門人にて綾辻
 門意榮子の号
 乃運則の執
 事下総植
 生郡或田の産
 當時東都長
 谷川野に住す
 俗稱清宮藤
 吉年甫十八

檜喰等文彦

打
 袖
 あつ
 そ
 志



白梅、枝

下総成田山北麓
 當山大先達大聖
 院秀宝法印年
 甫五十二

大坐亭法雨



筆入や
 梅はよ法
 人

下総不動成田ノ
 産又コモノ庵ヲ結
 ヒテ日力ヲ業トス
 通称筆屋五郎
 兵工隱居年甫
 七十六

竹老汶水



考やまきりの
 玉まはりのそ啼

下総香取郡十
 三枚ノ住接骨
 尾家出張當時
 不動成田ニ居テ
 別子接骨堂
 通称高安主計
 平生能譜ヲ好
 花下宗匠ノ門
 二入秀吟多シ

清
 の志

以李
 月
 志



得
 知庵仁里

下総成田ノ産
俗稱古河源藏
年卅三十才常
二風雅ヲ樂シ
又園基ヲ好

雅交庵

雅交

散

休

杉

萩

竹



常州霞浦西
蓮寺ノ境内ニ
松二櫻ノ宿木
ノ古ク生茂ルヲ
詠メル

新金亭歌多丸

通稱金塚新
左工門ト号シ
風流ノ余リ家
相ニ心ヲ寄年
齡古稀ニ近シ

庵

松

櫻

松

松

松



下総佐原住
永澤四郎兵衛
年甫六十
二

春曉齋丹李



菽
梅
廣
李

北総佐原住
通称安藤藤
兵衛年甫
二十八



一梢齋風鳥

吹
初
清
風
鳥

北總佐原ノ
住年甫二十八

不二亭不二丸

新因

今

室
中の

因極

那



北總佐原ノ住
二世葛齋菊
后ノ室

落葉

下

古石の

清波

まゝ

那

葛良亭

阿龍女



北総救野住
俗称鬼沢治
左工門年甫
四十九

家橘亭家橘

燈

經

寺
多

大晦日



北総大工
産年甫三十一

見米舎見米

み

思

新

新

麦

五月



下総香取郡
志高村高梨
長左門年甫
六十一

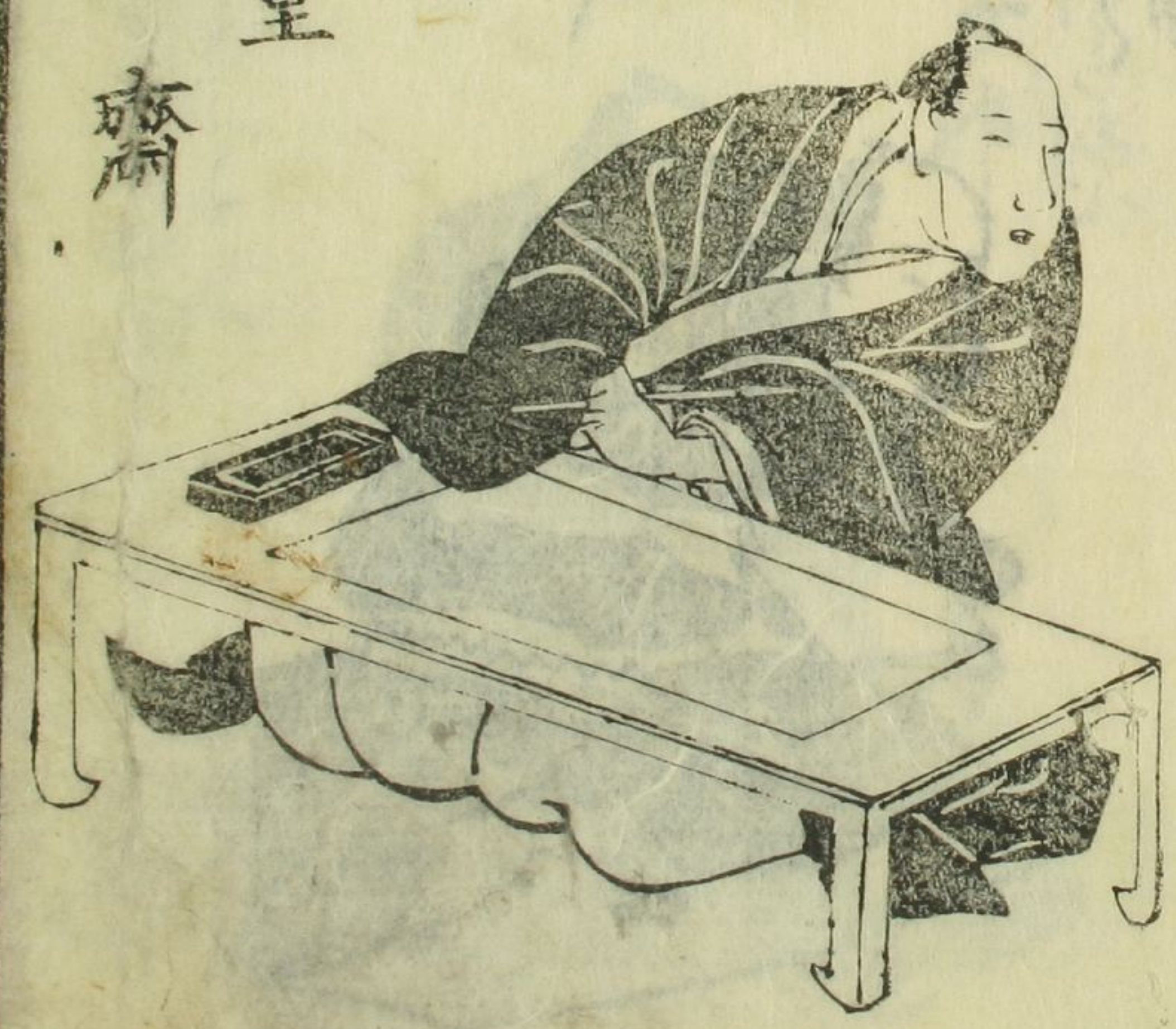
右茂亭
喜鶴



涼
あし
門北
七川
り
る
り
り

北総香取郡
多田村農夫
東彦太礼孝
年齢二十四

例
花河
多
多
糸
色
小
家
可
家
月
星
堂
旭
齋



小総廻戸
任加瀬六郎
兵工武啓年
車三十八

紫羅窗嘯月

湖水如

名流

志了

若

可



北総海上郡飯
岡村細屋彦右
工門年甫四
十二

余亦下し

音之流

明子多那

逸齋可唸



常州鹿嶋郡德
宿村石八戸ノ住
通称山口上若工
門年用五十四

向旭庵波月



花吟也
早々去海世如
中一ノ人

常州鹿嶋郡石
八戸ノ住俗称石
崎七至年甫
五十六

羣燕舍温甫



三日
向小
晴
弘
外

常州鹿嶋郡德
宿邨山口佐十郎
年甫二十七

清香亭二水

情如
廣子
給
可那



常州行方郡手
賀ノ住通称下
河辺友吉年甫
四十二

月光舎芭園

名月子
等白
可那



常州霞浦五町
田住通称大輪
平右卫門年甫五
十四

蚯蚓舎一步

雪

水

動

星



常州霞浦五町

田人俗称今泉
和三郎光昭年
甫二十有五常三丈
武ノ書ヲ好尚花
生ヲタノシム

柳湖亭子慎

雪後見月

寒威侵骨懶

徘徊

龜寺閑窓玉

雪挂

月苦星消風

烈夜

掃除天地一

毫埃



常州霞ヶ浦寺
賀ノ人俗称林
清治年南二
十五

栢風亭斗高

涼一
さや
その
ちき
とて
和さ
の
月



常州霞ヶ浦寺
賀ノ住通称鈴
木彦藏年南
三十三

多福志
家
繁
昌
の
寺
修
心



永松軒五龍

常州霞浦子賀
 住代之匠家二
 三通称万里三
 幸世人知所十
 業ノ暇詩連勺二
 不惑ノ齡ヲ養フ

霞浦軒修齋

夏日登步崎山

靈岳森然綠翠清
 淒涼徹骨已除醒
 朱樓映水祥光耀
 石磴懸天霽色明
 諸島帶藍拂霧淨
 片帆追浪受風輕
 禽声有出華表趣
 更令人催物外情



常州霞浦子賀
 造ノ住運極大
 和田作兵二年
 甫二十八

鼎齋松居

梅

香

多
 抄
 志
 也

二日ノ中



常州行方郡共
 田ノ住通稱嶋野
 屋久兵二年由三
 十文儒ヲ山居
 二学ニ推譲ハ故
 洞海舎ノ門云
 秀吟々々

山雪堂素考



常陽玉造ノ里
 商家扇屋ノ
 隱居年甫六十六

其水亭具水



昭毛の
 蛤形也
 后以月

常州度嶋郡當
間村小嶋久米
藏年甫五十一

旭亭秀李

松竹香
吟々も
又々々
古曲の
斗李

其水島昇水



常州行方郡武
田ノ住俗称河野
十兵卫年甫三十
四故河海舎ノ
門三入秀吟多

如了如差老
来了了差概

如了如差老

如親亭

如親



常州行方郡小
 貫ノ産通称原
 四島在左門年南
 三十一故東海舎
 ノ門ニ連併ヲ
 タシム

常陽行方郡借
 宿ノ住俗称鬼
 沢金次郎邦教
 年由由十七農
 間信友ト治国
 齊家ノ旨趣ヲ
 論シ常ニ勇奇
 嚴子陵カ跡ヲ
 慕フ心アリ



常州行方郡
 篋田在俗稱
 小牧采三郎孝
 道年甫三十三

榮和軒孝道

入月と
 日比
 本舎也
 美志真



世入知トヨリ
 業ト不通稱
 代々藍染

蘇桑楊公思

好むや孝のあり

有輔亭

有輔



八浦吉川
仁俗稱方波
是重兵部
年甫五十三

心水亭有魚



流波板也

~~~~~

~~~~~

右方波見氏二
男通稱理三郎
直能前年霞
浦永山村淺野
家二婿縁ヲ組
年甫二十六

江閣見月

江閣捲簾對月明

湖光万頃與雲平

渡哥一曲

人何處

世外清風

隔世情



瓜田亭李尉

常州霞浦出酒
 ノ住流称金塚市
 兵五年南二十五
 農間常盤庵ノ
 門ニ入テ敷孝及
 詩哥連俳ヲ学

萬物亭市磨



吹けとて

多き枝小

あけはれも

梅、香きけし

風やたると

常州鼓浦吉川
 ノ人通称方寛
 大島兵工勇幸
 重年南十七幼
 学ヲ心水亭ノ
 門ニ入後常盤
 庵ノ門ニ数学
 及詩哥連俳ヲ学

万歳よ
 子修の
 法
 繩手小

栢風舎琴磨



筑波根二續ク
 申挽ノ産通
 称岩城兵内
 年甫六十二

文雅亭文雅



自子学成
 としハ考
 帰小計理

此総海上郡子河
 ノ産服部姓ノ二
 男二而銚子垣根
 ノ里守野沢氏ノ
 養子タリ農間
 諸藝ヲ好尚蕉
 翁ノ野ヲ慕テ雄
 名千里ニヒシク
 年甫二五

新打
 方や
 新々の
 壁隣

尺蠖坐伸丸



北條海二郡銚子
 祖傳ノ人俗稱宇野
 深遠生二平百二十
 八辰間二古人季布
 候蘇ノ勇方氣ノ
 感ニ尚能諸ニ
 心ヲ委子雷名
 万里ニ裏ク

徳辨亭亀坐

清車法
 心ノ如ク
 中ノ如ク牡丹印



常陽鹿嶋郡銚子
 ノ住通称渡辺藤
 兵五年前五十三
 能諸哥ノ判者
 ニシテ秀ノ詠多ク
 雄名万里ニヒク
 トカヤ別ニ無隔
 齋ノ号アリ

さるる山風如吹り
 余中ノのこゝろ
 看るも取花の志下空

吾友軒豆人



常陽霞浦王

造ノ人年齢不惑

二充仁術ヲ業ト

レ通称千里万人

ノ知所ナリ風流

ハ哥垣蓮ノ判者

ニシテ英名諸邦

ニ聞エ

國史園良幹



うゝ

その

うゝ

うゝ

いゝ

ひ

ね

ね

う

北総佐原ノ住
二世葛齊

杉江年

知人

新 菓子

菊后

全
松憲

そ

も

江月

全
桃齊

う

兔郷

全
無夏亭

新

の

五有

全
恒齊

う

桂丸

全
伊勢亭

山

勢子

常州玉造
東風舎

百合草の花

信長別巻

ききりりり

青斗

誰人、草花ひきさかすの如

全

夕月る也

此の如く

信の如

全

あぬりとくそすや 子規

全

新巻七

隆江の如

あうよる

由之

全武田
由之亭

全大賀
二謹堂

長崎の風情持たり 船中
今も何れに云々も度々や

真猿

全大主
大齋

以多と一 河風をさす音高く
懐をゆきくを迷ふ如く

川磨

全麻生
波垣

寄くよ果るをさすてり月
さうりぬほく地一まの如

廣海

全八木マキ
國桃園

夏山のもの思ひを雨のうらは
らんぬほくあけををけり

三千丸

下総銚子
東濤庵

意ぬ形よ衣をさすひひも
あうひひひひひひひひひ

文雄

全櫻井
都曲園

花をさすはくぬるをさうりて
思ひぬるはす夕さるる

河鳥

尾張名古屋
山名庵

終そくは能くすてり如く

大朗

奥州
貞羽庵

海と湖の 吹くともはや 風と水鼓

立器

下総金江津
曲流舎

あまのまきのく
さる松うね

可川

常州吉川
竹葉齋

月山の 横ちり目き 霜おく

鬼平

全コモ夕
摩少庵

井の春 月おき下の 志ほとく

清化

全牛ホリ
翁雅亭

琴考の巖よ 烟さし 雲の形

持磨

全鹿鳥
鳳尾庵

山吹文の種 のまぶら 雲の形

時隣

青山閑々常盤算因磨獨吟

はるのあひさしをいさす時或るくくはるを連珠のまを尋しき

登鹿鳥坐

東海臨波鹿鳥坐宮中
杉木帯雲閑
羈行日に隣羣鹿五甲
心烟万歳關

俳諧哥

琴の音よ通ふ鹿鳥の松風ハ神代ス一きまをあらは

狂哥

鹿鳥山ゆりしとよる
朝紅馬馬鹿をのちく
つらふん

癸勺

日の前よスとよ
鹿鳥のあつ
しものやまをあらは

連哥

鹿鳥の聲もさや
花ハ喜波鹿鳥のゆふ
とて

俳諧

針燈もつし
とよる鹿鳥ハ
ソの居るをあらは

顯筑波坐

氤氳雙嶺合神水
女男川輝紫雲
千里方々羈宿烟

わらうしや外「留神」の二柱めくもさうさう筋波根の官

俳諧哥

狂哥

発句

連哥

俳諧

寄数学

俳諧哥

狂哥

発句

連哥

俳諧

詠枯竹梅

映泉窠竹緑向臚白梅開置酒聞黄
鳥万人長壽杯

俳諧哥

狂哥

発句

連哥

俳諧

おれやあ代の名考体 古風ませて、のこまゝに枯竹嘆き
世の中へあつてもトスそ 考きやや松竹梅の枝城る也一
松竹いともよみとりの名角か 松竹梅の枝城る也一
松竹よあしをの 饅や梅の花
松竹の考き考きや梅乃花 △白ひを 梅乃花
おれの外 梅乃花の考き一 △鳥よ連る 考き

十家集のえのりもて 松竹梅の考き
みろくあをより 考き考き考きの考き
そらんての七の考き 考き考き考きの考き
月夜のは 考き考き考きの考き

総州成田ニ住シ真
 言秘密ノ真儀ヲ
 極メ法名ヲ南光
 坊ト号ス年甫三
 十六勤行ノ暇捨
 園ノ門ニ入テ考詠
 多シ別号童法閣

檜友亭
 梅壽躬

何とあきて
 風はあきの
 のある
 花もい



常州北浦大生人
 通称大生川軍治
 並名利平庵興ト

大生川庵師興

詠湖水

高閣臨湖水
 掃帆映酒中
 掉哥醒醉曲
 誰見釣魚翁

号ス里政ノ邊右
 二居ニ壯年ヨリ儒
 ヲ好門弟庵ニ克
 英名万里ニヒキ文
 道ニ大業也齡ヲ
 類フ



常州北浦大賀久
 通林箕輪作右衛門
 為長村長三勤務
 叔生花二心ヲ委
 子遠州派高名
 千里ニヒキ風流ハ
 国字哥垣ノ門ニ入
 又薫翁跡ヲ慕テ
 古稀並キ齡ヲ報

大賀亭詩免戒

月夜よはつき

折の光

九うあ

肚脱ハ

物

精附木

大出川家相



常盤算

園磨

常州北浦吉川人
 通林根田新右門
 平永壽在母目
 里成在二居セシレ
 尚又知後二省叙ノ
 御用ヲ蒙リ相勤
 年久シ勤務ノ暇詩
 哥連俳ヲ樂ミ又
 書數ニ心ヲ委子門
 弟庵ニ充尚謠曲ヲ
 好テ身頃ニ余シ齡
 ヲ報フ雅名録柳
 舎肯山閑人ノ別
 号アリ



年丁に於て此の書
 丁に於て此の書
 丁に於て此の書

常州新治郡四村
ノ人村長ニテ俗稱
世人ノ知所ナリ年
百四十九

曉鳥亭二三



曉鳥亭
くもるる
あゝ繁、郎

常州河内郡須賀
洲、産當時霞浦
手賀三使非錯

此君軒、門二入花
活、米一葉ノ門人
多、俗稱富田家
介年重三十四

秋ささげはあつる
るや春のあ

茶也店
半冬、
将、
如、
天



涼風軒
彭、
坐

北総谷中ノ位
年卅四十八

溪河廻源桂



江戸はまの蠅ハ
船場てふとこり

吉川村鎮守諏訪大明神奉納詠

さよめいんすもすゆくそや月 葵葉堂僊哉君
こゝろのしんすもすゆくそや月 蓬 寔憐風君

和哥

五折をハいくし思ん梅蔭のあきあす世道の静かたの海
風をうき雲の夢は舟のまよふの霧のくさくさ思ひくさく
秋をねはまろくく心は静けけ樹の梢と懐くまそらん
秋のすうは中々しひはすゆのまよふ梅のしをまきりり
枝をまきりりしをまきりりしをまきりりしをまきりりし
むくし生えけしをまきりりしをまきりりしをまきりりし

俳諧哥

あゆみひてすあは月や跡されしすてきあふりり経夜
目もむきハ時あやまらるる月をうきり月ハりあやまらるる
花しすまけすあやまらるる秋の静のまよふをまきりりり
まよふをまきりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
かきりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

次身不同

常カマ 時隣
北総大角 保 舊
全カトリ 光 女
全イロカ 眞 貫
常世ナリ 常 雄
全青山 信 之
下サテラシ 文 雄
常ホコタ 豆 人
今イタコ 守 居
眞下サキ 文 月
常子コ 光 雄

訊 燕

詣加波坐

登塚原坐

微暖薰人楊柳風
雙上燕子掠晴空
良衣粉上芳菲節
自舍春泥和落香
此色帶雲路已通
崔嵬秋景望無窮
神仙羽客稱威靈
瞻仰三尊一致風
坐喜臨北水泉鳥
嚙宮廵映酒松間
月神杯壽薦人

全 串挽 東洲
常府 謙齋
願三 國磨

巨稱

日生

全

江戸 今居于常府

常盤葺藏板
杜撰不寄舊本
聿画雪堂月峯
彫善紀堂次郎吉

塚原山詩詞連能千人一首卷之一終

